



上野学園短期大学

【音楽科】ピアノ専門／器楽専門／声楽専門 【専攻科】音楽専攻

募集中



社会人学生

いくつになっても学びたい！
あなたのその気持ちを応援します。



選ばれる3つの特長

1

社会人でもトライしやすい入試制度

総合型選抜（社会人）の試験は、「専門実技（レッスン形式）」、「作文」、「面接」のみです。専門実技（レッスン形式）は、一度の演奏のみの一発勝負ではなく、具体的なアドバイスをを行い演奏の変化を含めたレッスン全体の様子を評価します。作文は、あらかじめ書いたものを出願書類として提出します。

2

しっかり学べて学位も取れる！

個人レッスンからアンサンブル、一般教養から音楽の専門教育まで、多面的に学ぶことができるのが音大の特長です。卒業すると「短期大学士」の学位が授与されます。

3

3年間で学べる長期履修学生制度

通常2年に定められた短大の修業年限を3年に設定して学ぶことができる修学制度です。職業を持っている、育児中である等の理由により、学習の機会を断念していた社会人の方も、週3日程度の通学で計画的に履修を行うことができます。また、修業期間中の年間学納金等は、通常（修業年限2年）の学生が卒業までに納入する総額を修業年限（3年）で除した額となるため、年単位での経済的な負担も軽減できます。

資格
取得

音楽療法士（全国音楽療法士養成協議会認定音楽療法士（2種））
中学校教諭二種免許状（教科＜音楽＞）
吹奏楽指導者認定資格（本学独自認定資格）

詳細は
上野学園短大 公式サイトを
ご覧ください！

社会人特別ページ



上野学園短期大学

【音楽科】ピアノ専門、器楽専門、声楽専門

【専攻科】音楽専攻

〒110-8642 東京都台東区東上野4-24-12
TEL. 03-3842-1024 FAX. 03-3842-8966

公式サイト
www.uenogakuen.ac.jp >>

Follow me!
公式サイト／



@uenogakuen_ad
@UenoGakuenUniversity
@290cxlwg
@uenotandai



上野学園短期大学 *Interview*

社会人学生インタビュー



音楽科
ピアノ専門 1年
Sさん

Q: 入学のきっかけは？

ヤマハでシステム講師として働いていた時に、子供達と触れ合い学校の先生になりたい！と考えるようになりました。そして、教職が取れる学校を探していた所、上野短大を知りました。上野短大は社会人学生の受け入れをしており、気後れする事なく通えると思い、入学したいと思いました。

Q: 印象に残っている授業はありますか。

実技のレッスンです。倉地先生のレッスンは楽しく、今まで気が付かなかった事や、まだまだ足りない部分があると、毎週思います。大人になってもまだまだ学ぶ事がたくさんあると再認識しています。

Q: 今後の抱負

ピアノの演奏をもっと深める事と、来年の教員採用試験に向けて、準備を進めて行く事です。

Q: 私のイチオシ

アットホームで年齢関係なく色々な人たちとお話出来る機会がある事です！また、先生方もとても気さくで話しやすいです。



音楽科
器楽専門（ファゴット）1年
Hさん

Q: 入学のきっかけは？

以前から音楽大学で音楽を総合的に学びたいとの希望を持っていました。しかし、仕事との兼ね合いで決断できないまま過ごしていましたが、一度は大学を覗いておこうとオープンキャンパス参加を申し込んだ折に、ファゴット担当の森田先生の体験レッスンを受講して「この先生の指導を受けられるのなら」と即決しました。

Q: お仕事との両立は大変だと思いますが、楽しいところは？

楽しいというよりは新しい学びは四苦八苦で頭の中は飽和状態の日々です。しかし、知らなかったことや細やかな自分の知識や経験と合致する学びは毎日が新鮮な味わいを感じながらの時間ともなっています。ここに一番の楽しさを感じているのだと思っています。

Q: 今後の抱負

妻や子どもに心配をかけることなく、また日々の職責を全うする中で、大学での学びを無事にやり終えられること、これに尽きます。

Q: 私のイチオシ

練習室すべてにグランドピアノが設置されていて、それを学内予約サイトを通して自由に学生が利用できる環境には驚いています。この恵まれた環境は実に有難い限りです。先生方は老若男女問わず「配慮はしますが講義に妥協はありません」という姿勢だと感じています。適度な緊張感があって講義に集中できるのが有難いことと思っています。



音楽科
器楽専門（オーボエ）1年
Mさん

Q: 入学のきっかけは？

師事している広田智之先生からの推薦です。元々京都から広田先生の元へ通っていたのですが、正式に弟子入するなら東京の大学に進学する事を勧めて頂き、先生が教鞭をとられておられる上野学園へ進学することを決めました。社会人枠があるので受験がスムーズに進み、良かったです。

Q: 今後の抱負

広田先生に認めて貰える奏者になることです。私はプロ奏者（オーケストラプレイヤー）になる事が目標で、そのためにはまず師匠に認めてもらう必要があります。卒業までに認めてもらえるよう、精進いたします。



音楽科
ピアノ専門 2年
Dさん

Q: 入学のきっかけは？

音楽療法を学べる先を探している中で、2年間での資格取得が可能な本学に出会いました。受験前に、オープンキャンパスで実際にピアノを聴いていただいたり、音楽療法の先生にお話をうかがう機会を作っていただいたりと、親身になっていただいたことが決め手でした。また、通学が可能な立地であることも理由のひとつです。

Q: 子育てと学業の両立で工夫していることは？

基本的に、仕事をしていたときと同じです。会社が学校に変わったという感覚です。練習や調べものは、原則、学校で行うようにしています。また、小学生の娘の登下校

や習い事に合わせて、夫と時間調整したり、土曜日に授業や実習（音楽療法）がある日は実家にお世話になったりと、身内の協力に感謝しています。それから、体力的に無理なく履修できるよう、教務の方に相談ののっていただきながら履修計画をたてました（長期履修制度も活用）。

Q: 今後の抱負

2年生になり、音楽療法のプログラム作りから実践までの実習が始まりますので、充実した学びとなるように、丁寧に取り組みたいです。今、人生初の、「好きなことに自由に時間を使う」「人と比べずに自分が良いと思うことを選べる」という、心身ともに穏やかな日々を過ごせています。卒業後も、そのような価値観を持って、仕事に家庭生活に生かしていきたいです。

Q: 私のイチオシ

ピアノアンサンブルの授業。連弾は、1人で弾くのととは違った難しさがありますが、とても楽しいです！同級生の演奏を聴くことも勉強になります。練習を通じて、同級生と仲良くなれます（笑）上野公園は、多くの見どころ満載です。気候の良いときに、散歩するだけでも心がスッキリします。



音楽科
ピアノ専門 2年
Yさん

Q: 入学のきっかけは？

音楽療法士の資格を取ることができるから。10年以上前に「音楽療法の力ってあるのかもしれない。」と思うできごとに出会い、それから、『音楽療法』に興味を持つようになりました。

Q: 静岡から通われて大変だと思いますが、通学はどうですか？

電車では、行きは課題や分からなかった授業の復習などをして、帰りはのんびりと過ごしていることが多いように思います。乗り換えが上手いけば、電車の時間はそれほど長く感じません。また、1日1万歩ぐらい歩くので、健康維持にもつながっているかもしれません。

Q: 今後の抱負

音楽療法士として、主に高齢者の健康維持に関わる仕事をしていきたい。そして、音楽療法の効果について、身近な人から少しずつ伝え、広めていきたいと思っています。

Q: 私のイチオシ

他の人の演奏を聴く機会が多いことです。演奏会、文化祭、授業（アンサンブル、グルーブレッスン、実習）で、他の人の演奏を聴く機会が多く、その中で感動や学び、新しい発見などがあり、とても充実した時間を過ごすことができます。

Q: 印象に残っている授業はありますか。

川上先生の音楽史です。所謂一般の“西洋音楽史”とは一味違う切り口からの授業はとても興味深いものがありました。なんと言っても実技。オーボエは広田先生と小山先生との2人体制で指導していただけます。音楽大学でリードのレッスンがあるのは上野学園だけだそうです。

Q: 私のイチオシ

オーボエ部屋！オーボエにはリードを製作するための特別な部屋があります。毎日誰かが背骨を曲げてリードを作っています。